

令和4年度 支援学校10年経験者研修 実施要項

- 1 目的 教育公務員特例法第24条の規定に基づき、現職研修の一環として、個々の教諭の能力、適性等に応じて必要な事項に関する研修を実施し、指導力の向上等、教諭としての資質の向上を図る。

*この研修は、教育公務員特例法第24条「中堅教諭等資質向上研修」に相当する研修である。

- 2 対象 教職経験10年目の教諭

- 3 内容等

回	日時		内容	会場等
	1班	2班		
1	4月20日(水) ～ 5月11日(水)	提出締切:5月17日(火)	開講に当たって －10年経験者研修受講者に望むこと－ OSAKA教職スタンダードから見るキャリアステージ 学校の危機管理と教職員の服務規律について 防災教育について	オンデマンド開催
2	5月18日(水) ～ 6月1日(水)	提出締切:6月7日(火)	授業づくり 校内の授業改善の推進【理論】 －校内の授業改善を効果的に進めるために－	オンデマンド開催
3	5月～11月		授業づくり 校内の授業改善の推進【実践】	所属校等
4	6月8日(水) ～ 6月21日(火)	提出締切:6月28日(火)	組織づくり メンタリング【理論】 －初任期教員のキャリアを援助する存在－	オンデマンド開催
5	6月～1月		組織づくり メンタリング【実践】	所属校等
6	6月22日(水) ～ 7月12日(火)	提出締切:7月19日(火)	授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現【理論】	オンデマンド開催
7	6月～12月		授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現【実践】	所属校等
8	7月13日(水) ～ 7月26日(火)	提出締切:8月2日(火)	組織づくり チームビルディング【理論】 －一人ひとりの能力や強みを生かした組織づくり－	オンデマンド開催
9	7月～1月		組織づくり チームビルディング【実践】	所属校等
10	8月3日(水) ～ 8月24日(水)	提出締切:9月6日(火)	ともに学び、ともに育つ －支援教育のさらなる充実のために－ ロジカルシンキング －課題解決につながる考え方－	オンデマンド開催

11	9月28日 (水)	10月5日 (水)	人権教育の推進について 人権侵害事象の対応について	大阪府教育センター
	14:00～17:00			
12	11月9日 (水)	11月16日 (水)	授業づくり 校内の授業改善の推進【検証】	大阪府教育センター
	14:00～17:00			
13	12月14日 (水)	12月21日 (水)	授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現【検証】	大阪府教育センター
	14:00～17:00			
14	2月1日 (水)	2月8日 (水)	組織づくり【検証】 閉講に当たって	大阪府教育センター
	14:00～17:00			

4 会場 第1～10回 所属校等

第11～14回

大阪府教育センター(大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882)

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m

JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m

近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 担当室 支援教育推進室

- 6 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
 - (3) 自家用自動車・バイク等は教育センターに駐車できません。
 - (4) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認しておくこと。
 - (5) オンデマンド開催の場合、研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。

令和4年度 支援学校10年経験者研修 シラバス

1 目的

教育公務員特例法第24条の規定に基づき、現職研修の一環として、個々の教諭の能力、適性等に応じて必要な事項に関する研修を実施し、指導力の向上等、教諭としての資質の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標															職に応じた指標		
	I			II			III			IV			V			支援学校（学級）		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2	3
第4期																		
第3期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1期																		
第0期																		

3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	準備物・事前課題
1	開講に当たって ー10年経験者研修受講者に望むことー	<ul style="list-style-type: none"> ・10年経験の教員に求められる役割を理解し、教職経験10年めとしての自覚と使命感を養う。 ・10年経験の教員の立場から、学校教育の現状と課題について考え、自分の学校での立場や役割について理解する。 	準備物 ・「10年経験者研修の手引」 ・実施要項 ・シラバス ⇒ ダウンロード
	OSAKA教職スタンダードから見るキャリアステージ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のキャリアを振り返るとともに、これから必要とされる力について理解を深め、今後の教員としての自分について考える。 ・10年経験者研修受講に当たっての留意事項について、理解する。 	
	学校の危機管理と教職員の服務規律について	<ul style="list-style-type: none"> ・ミドルリーダーとして、学校が直面する危機や災害時の対応について知る。 ・ミドルリーダーに求められるリスクマネジメントとクライシスマネジメントについて考える。 ・服務規律等について、昨今の法令に基づいて理解を深め、教育公務員としての意識を高める。 ・心肺蘇生法やAEDの使用ができるようになることの必要性や重要性を理解する。 	
	防災教育について	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育に関する理解を深め、今後、各学校で防災教育を展開するための要点を理解する。 	
2	授業づくり 校内の授業改善の推進【理論】 ー校内の授業改善を効果的に進めるためにー	<ul style="list-style-type: none"> ・講義を通して、特別支援学校学習指導要領改訂の趣旨や内容について学び、今求められる資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメントの在り方について理解を深める。 ・演習を通して、カリキュラム・マネジメントの視点に立った、校内における授業改善の進め方について考える。 	

3	授業づくり 校内の授業改善の推進【実践】	<ul style="list-style-type: none"> ・【理論】回で学んだことを生かして、校内における授業改善を実施する。 ・所属校での実践を振り返り、取組みの成果や課題、改善点についてレポートにまとめる。 	
4	組織づくり メンタリング【理論】 －初任期教員のキャリアを援助する存在－	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩教員としての自覚を高め、メンタリングの考え方や進め方について学ぶ。 ・メンターとメンティとの人間関係で繰り返し広げられる人材育成の手法に触れ、OJTの活性化の担い手として活躍できるようになる。 	準備物 研修資料 「メンタリング・ハンドブック」 ⇒ ダウンロード
5	組織づくり メンタリング【実践】	<ul style="list-style-type: none"> ・講義、演習等を通して学んだことを生かし、初任期教員の支援につながる取組みを所属校等で実践する。 ・所属校の実態に合わせて自身の取組みをすすめ、改善等を加えながら成果や課題を整理する。 	
6	授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現【理論】	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を進めるための、ICTの効果的な活用方法について学び、自身の授業での活用について考える。 ・指導と評価の一体化の必要性について理解し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導方法と評価方法の改善・充実のための方策について考える。 	
7	授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現【実践】	<ul style="list-style-type: none"> ・【理論】回で学んだことを生かし、幼児児童生徒の実態や学習内容に応じて指導方法や評価方法等を創意工夫し、計画的に授業を実践する。 ・授業のねらいの達成状況や幼児児童生徒の学習状況を把握し、所属校での実践をレポートにまとめる。 	
8	組織づくり チームビルディング【理論】 －一人ひとりの能力や強みを生かした組織づくり－	<ul style="list-style-type: none"> ・チームビルディング（組織関係づくり）の基本を学び、組織の課題解決のスキルを身に付けるとともに、自らが果たす役割を認識する。 ・講義、演習等を通して、組織マネジメントや人材育成についての知識を身に付ける。 	
9	組織づくり チームビルディング【実践】	<ul style="list-style-type: none"> ・講義、演習等を通して学んだことを生かし、所属校の校務等でチーム内の自分の役割を意識して実践する。 ・チームビルディングを意識した所属校での実践をレポートにまとめることを通して、自らの取組みを振り返り、自分の果たした役割について考察する。 	
10	ともに学び、ともに育つ －支援教育のさらなる充実のために－	大阪府における支援教育の現状と課題について認識を深め、共生社会にむけた支援教育の推進について理解する。	
	ロジカルシンキング －課題解決につながる考え方－	課題解決や物事を提案するスキルの向上につながる論理的な思考（ロジカルシンキング）について理解を深める。	

11	人権教育の推進について	人権教育に関する法律や条例、調査結果等から、大阪府における人権教育の現状と課題について認識を深め、教育活動全般を通じて人権教育を推進していくことを理解する。	事前課題 「教職員人権研修ハンドブック Q13, 20～24, 34」を読むしておく。 ⇒ ダウンロード
	人権侵害事象の対応について	人権侵害事象にかかわる事例検討を行い、人権侵害事象の分析及び対応について学ぶ。	
12	授業づくり 校内の授業改善の推進【検証】	<ul style="list-style-type: none"> 実践レポートを用いて、カリキュラム・マネジメントの視点に立った、校内の授業改善の推進の在り方について理解を深める。 自らの成果と課題をまとめるとともに、次年度の具体的な取組み内容について考えを深め、所属校での実践に生かす。 	準備物 実践レポート 事前課題 ⇒ ダウンロード
13	授業づくり 主体的・対話的で深い学びの実現【検証】	<ul style="list-style-type: none"> 実践レポートを用いて、授業実践の内容を検証、共有し、幼児児童生徒の学びの過程を質的に高めていく幅広い授業改善の工夫を学ぶ。 授業実践に関する自身の成果と課題を振り返り、今後の授業改善の具体的方策を考える。 	準備物 実践レポート、 学習指導案 事前課題 ⇒ ダウンロード
14	組織づくり【検証】	<ul style="list-style-type: none"> 所属校での実践を基にした研究協議を通して、「メンタリング」、「チームビルディング」を意識した各校での取組みを共有する。 自らの取組みの成果と課題及び協議を踏まえて、次年度に向けてミドルリーダーとしての具体的な取組み内容について考える。 	準備物 実践レポート 事前課題 ⇒ ダウンロード
	閉講に当たって	この1年間の研修を振り返り、今後の教員としての在り方、心構えについて考えると同時に、使命感を高める。	

4 OSAKA 教職スタンダードとの関わり

求められる資質・能力		第2期	研修回
		第3期	
I	1 人権尊重の精神	学校の人権教育推進のために行動できる	1、10、11
		学校の人権教育及び地域啓発を企画・推進し、教職員を指導できる	1、10、11
	2 危機管理能力	学校安全のために組織的な行動ができる	1
		学校における危機管理体制を点検し、改善できる	1
	3 学び続ける力	幅広い専門性を高めることができる	1
		最新情報を収集し、実践を発信できる	1
II	4 課題解決能力	学年〔学校〕の課題を把握し、解決に向けて行動できる	1、2、3、10、12
		学校の課題を把握し、解決に向けて行動できる	1、2、3、10、12
	5 法令遵守の態度	法令への深い理解を持っている	1
		法令遵守の精神を教職員に助言できる	1
	6 事務能力	効率的に処理ができる	1
		他の教職員と協力し効率的に処理できる	1
III	7 協働して取り組むことができる力	チーム力を高めることができる	1、4、5、8、9、14
		組織力を高めることができる	1、4、5、8、9、14
	8 ネットワークを構築する力	課題を解決するためのネットワークを構築できる	1、4、5、8、9、14
		組織力を高めるためのネットワークを構築できる	1、4、5、8、9、14
	9 マネジメントする力	学校教育目標に基づき、学級経営等を行うことができる	1、4、5、8、9、14
		学校教育目標に基づき、学校の計画を作成・実行できる	1、4、5、8、9、14
IV	10 授業を構想する力	創意工夫をした学習指導案を作成することができる	6、7、13
		他の教員に授業の構想について助言ができる	6、7、13
	11 授業を展開する力	子どもの実態に応じた授業展開ができる	6、7、13
		授業展開について助言ができる	6、7、13
	12 授業を評価する力	授業改善を推進する	6、7、13
		授業評価力を身に付けている	6、7、13
V	13 子どもを理解し、一人ひとりを指導する力	子どもどうしのコミュニケーションを促進できる	6、7、10、11、13
		子ども対応のロールモデルとなることができる	6、7、10、11、13
	14 子どもの集団づくりを指導できる力	組織的な対応の中心となることができる	6、7、10、11、13
		組織的な指導体制を機能させることができる	6、7、10、11、13
	15 子どもを集団づくりの中でエンパワーできる指導力	学年全体の実態把握ができる	6、7、10、11、13
		学校全体の実態把握ができる	6、7、10、11、13
専門領域【支援学校（学級）の教諭】			
1 ネットワークの構築	子ども一人ひとりの課題を解決するためネットワークを活用することができる	4、5、8、9、14	
	組織力を高めるためのネットワークを構築することができる	4、5、8、9、14	
2 子ども理解 個の教育的ニーズに応じた指導・支援	校内の支援教育を積極的に進めることができる	2、3、12	
	支援教育に関して広く知識を持ち、地域への発信、教員への指導・助言ができる	6、7、10、13	
3 交流及び共同学習等	交流及び共同学習を積極的に進めることができる	10	
	交流及び共同学習を推進するための組織的対応の中心となることができる	8、9、14	